

みずほCustomer Desk Report 2019/08/28 号(As of 2019/08/27)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	105.86
TKY 9:00AM	105.98	1.1101	117.66	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	106.15	1.1116	117.82	1.2218	0.6770
SYD-NY Low	105.60	1.1086	117.21	1.2310	0.6780
NY 5:00 PM	105.76	1.1090	117.27	1.2209	0.6747
				1.2288	0.6750
NY DOW	25,777.90	▲ 120.93	日本2年債	-0.3000	2.00bp
NASDAQ	7,826.95	▲ 26.79	日本10年債	-0.2700	1.00bp
S&P	2,869.16	▲ 9.22	米国2年債	1.5223	▲ 1.89bp
日経平均	20,456.08	195.04	米国5年債	1.3803	▲ 3.69bp
TOPIX	1,489.69	11.66	米国10年債	1.4736	▲ 6.40bp
シカゴ日経先物	20,415	▲ 125	独10年債	-0.6955	▲ 3.00bp
ロンドンFT	7,089.58	▲ 5.40	英10年債	0.5015	2.40bp
DAX	11,730.02	71.98	豪10年債	0.9170	4.10bp
ハンセン指数	25,664.07	▲ 16.26	USDJPY 1M Vol	8.36	▲ 0.19%
上海総合	2,902.19	38.63	USDJPY 3M Vol	7.92	▲ 0.13%
NY金	1,552.40	15.20	USDJPY 6M Vol	7.65	▲ 0.10%
WTI	55.69	2.05	USDJPY 1M 25RR	-1.80	Yen Call Over
CRB指数	169.70	0.79	EURJPY 3M Vol	8.29	▲ 0.22%
ドルインデックス	98.00	▲ 0.08	EURJPY 6M Vol	8.05	▲ 0.23%

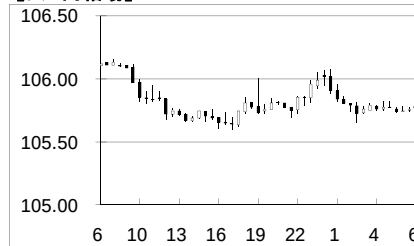
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月27日	11:50	豪 デベル豪中銀副総裁 講演「さらなる豪ドル安は助けになる」		
	15:00	独 GDP(前期比)・確報 2Q	-0.1%	-0.1%
	21:00	英 テンレイロBOE委員 講演「物価と需給の緩みの関連性、最適な金融政策の下で認識困難」		
	23:00	米 エンファレンスボード 消費者信頼感 8月	135.1	129

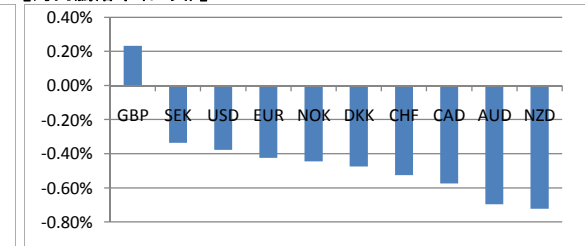
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月29日	01:20	米 パーキン・リッチモンド連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率（日次）】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.20-106.20	1.1050-1.1150	116.70-117.90

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は小幅に下落。東京時間に105円台半ばまで下落すると、ロンドン時間は特段材料の無い中で狭いレンジで推移。NY時間に渡り、米8月消費者信頼感指数が予想を上回ったことからドル円は一時106.07円まで上昇。しかし、米中通商問題の長期化懸念が残る中では106円台での戻り売り圧力も強く、105.60円台まで反落した。本日のドル円は105円台半ばでもみ合う推移を予想。特段取引材料の無い中で、月末を控えた実需のフローが相応に見込まれる。輸入企業勢の買いにドル円の上昇サポートがあったとしても、106円台には輸出企業の売りが控えていることが想定され、ドル円の上値は重くなると考えられる。

アジア	オセアニア時間、ドル円は一時106.15をつける場面も見られたが、米中貿易問題への懸念が根強い中、軟調推移の展開となり、105.98レベルで東京時間オープン。特段目立った材料が無い中、月末を控えたドル売りフローがドル円の上値を押さえたことでドル円はじりじりと軟調推移の展開。結局、105.66レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は105.66レベルでオープンし、特段材料が出ない中、売り買いが交錯しながら値幅の狭いレンジで推移。瞬時的にレンジを抜けて106.00円まで上昇する局面もあったが、市場では夏休みで商いが薄いこともあり、誤発注ではないかとの懸念が浮上。結局105.76レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.2216レベルでオープン、1.22台で堅調に推移する中、ショートポジション縮小によるポンド買いドル売りが進み、ポンド相場は一本調子で上昇。1.2269レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	トランプ大統領が態度をやや軟化させたことから、米中通商協議に対する期待はあるものの、トランプ大統領の態度がコロコロ変化することに対して中国側が信用できないとする記事もあり、ドル円は上値を重くし、105.60まで下落し、105.76レベルでNYオープン。NY朝方は特段のニュースが見当たらないものの、ドル買いが先行したこと、ドル円はじり高で推移し、NY10時に発表の米8月消費者信頼感指数が予想を上回ったことから、一時106.07まで上昇するが、米中通商協議が合意に至るには相当時間が掛かるとの見方から、戻り売りに105.66まで反落する。NY午後は新規材料に欠ける中、狭いレンジでの推移が続き、105.76レベルでクロスした。一方、独第2四半期GDPが改定値もマイナスであったことから、リセッション懸念が強まる中、ユーロドルは1.1100まで下落し、1.1102レベルでNYオープン。NY朝方はギントスECB副総裁が「低金利が長く続く」と発言したことなどから上値を重くし、1.1086まで下落する。NY午後は狭いレンジでの推移が続き、1.1090レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 森谷・田家